

クローン病小腸狭窄に対する内視鏡的バルーン拡張術ガイドライン作成への協力

研究協力者 氏名 渡辺憲治

所属先 兵庫医科大学炎症性腸疾患センター内科 役職 診療部長、准教授

研究要旨：日本消化器内視鏡学会のガイドライン委員会は、2015年に「小腸内視鏡診療ガイドライン」を作成したが、EBDに関しては適応となる狭窄について触れたのみで、具体的な手技の方法については述べていなかった。そこでこの度、新たな知見を加えて、「クローン病小腸狭窄に対する内視鏡的バルーン拡張術ガイドライン」を小腸内視鏡診療ガイドラインの追補版として作成することとなった。日本消化器病学会、日本消化管学会、日本炎症性腸疾患学会、日本小腸学会、厚労省難治性炎症性腸管障害班会議（久松班）に協力依頼がされることになった。

共同研究者

山本博徳¹、矢野智則¹、○渡辺憲治²、荒木昭博¹、江崎幹宏⁴、大塚和朗⁵、大宮直木⁶、岡 志郎⁷、仲瀬裕志⁸、馬場重樹⁹、平井郁仁¹⁰、細江直樹¹¹、松田知己¹²、三井啓吾¹³、緒方晴彦¹¹、松本主之¹⁴、勝木伸一¹⁵、藤本一眞¹⁶

（自治医科大学内科学講座消化器内科学部門¹、兵庫医科大学炎症性腸疾患センター内科²、虎の門病院本院健康管理センター³、佐賀大学消化器内科⁴、東京医科歯科大学医学部附属病院光学医療診療部⁵、藤田医科大学消化管内科⁶、広島大学病院消化器・代謝内科⁷、札幌医科大学医学部消化器内科学講座⁸、滋賀医科大学医学部附属病院栄養治療部⁹、福岡大学医学部消化器内科¹⁰、慶應義塾大学医学部消化器内科¹¹、仙台厚生病院消化器内視鏡センター¹²、日本医科大学消化器内科学¹³、岩手医科大学内科学講座消化器内科消化管分野¹⁴、小樽掖済会病院消化器病センター¹⁵、国際医療福祉大学大学院¹⁶）

いて触れたのみで、具体的な手技の方法については述べていなかった。そこでこの度、新たな知見を加えて、「クローン病小腸狭窄に対する内視鏡的バルーン拡張術ガイドライン」を小腸内視鏡診療ガイドラインの追補版として作成することとなった。

B. 研究方法

日本消化器内視鏡学会のクローン病小腸狭窄に対する内視鏡的バルーン拡張術ガイドライン委員会は下記のメンバーにて構成された。

（委員長）山本博徳

（作成委員長）矢野智則

（作成委員）荒木昭博、江崎幹宏、大塚和朗、大宮直木、岡 志郎、仲瀬裕志、馬場重樹、平井郁仁、細江直樹、松田知己、三井啓吾、渡辺憲治

（評価委員長）緒方晴彦

（評価委員）松本主之、勝木伸一

（担当理事）藤本一眞

A. 研究目的

日本消化器内視鏡学会のガイドライン委員会は、2015年に「小腸内視鏡診療ガイドライン」を作成したが、EBDに関しては適応となる狭窄につ

Minds 診療ガイドライン作成マニュアル 2017 に従い、Background question (BQ)、Clinical question (CQ)、Future research question (FRQ)を作成し、CQ は Delphi 法で推奨度を決

定した。

C. 研究結果

2021年1月の班会議で報告の後、原案が完成し、現在、2021年6月末を締め切りとしてパブリックコメントの募集が行われ、完成した。

2021年10月の日本消化器内視鏡学会誌に掲載され(2021年63巻10号 p. 2253-2275)、現在、英文化が行われている。

D. 考察

「クローン病小腸狭窄に対する内視鏡的バルーン拡張術ガイドライン」を「小腸内視鏡診療ガイドライン」の追補として作成した。バルーン小腸内視鏡の登場により深部小腸での内視鏡治療が可能となり、外科的手術に代わる低侵襲治療として、クローン病小腸狭窄に対する内視鏡的バルーン拡張術が近年普及しつつある。本ガイドラインでは、その標準的な方法について、バルーン内視鏡の挿入経路とそれに応じた腸管前処置、適応判断、偶発症、有効性、目標拡張径、拡張時間、狭窄多発例に対する対応、併用療法や代替治療の現状と、今後に残された課題をまとめた。

E. 結論

本邦で開発されたバルーン小腸内視鏡を用いた内視鏡的バルーン拡張術を日常臨床で行っている本邦から本ガイドラインを発刊し、内容を総説と各論(3つのBQ、3つのCQ、7つのFRQ)にまとめた。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

1. 論文発表

山本 博徳, 矢野 智則, 荒木 昭博, 江崎 幹宏, 大塚 和朗, 大宮 直木, 岡 志郎, 仲瀬 裕志, 馬場 重樹, 平井 郁仁, 細江 直樹, 松

田 知己, 三井 啓吾, 渡辺 憲治, 緒方 晴彦, 勝木 伸一, 松本 主之, 藤城 光弘, 藤本 一真, 井上 晴洋. Gastroenterol Endosc 2021; 63: 2253-2275.

2. 学会発表

なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む)

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

特になし